

水道局は安心・安全な水道水をお届けします

水道水は、塩素消毒をしているから安心して飲むことができます。水道局では水道水を安心して飲んでいただくために水源（取水井戸）からじゃ口まで水道法に基づく水質基準に適合するように、きめこまかな水質管理を行っています。

- 原水（取水井戸から汲み上げた水）は法定検査を含め月に1回検査をします。
- 配水池（水道局を含め市内8箇所）は法定検査と独自検査項目を月に1回検査をします。
- 管末（配水池より遠い市内30箇所）は毎日（年中無休）残留塩素と色、濁りの検査をします。
※残留塩素とは水道水中に残っている消毒用の塩素のことをいいます。水道法では、じゃ口から出る水道水の中に0.1mg/ℓ以上の塩素が残留していることが義務づけられています。水道水の中に塩素が残留していることは、適切に消毒が行われている「安全の証」です。



荒尾市水道局の
マスコットキャラクター
あらぞう君

水道水の色に異常を感じた場合は、さまざまな原因が考えられます。透明になるまでしばらく水を流してください。
それでも気になる場合は水道局へご相談ください。

- ☎ 水道局お客様センター ☎ 64-3333
※水道料金、使用に関すること
- 水道局維持管理係 ☎ 64-3350
※夜間の連絡先、水漏れや水がでないとき

水道管の凍結にご注意ください

気温が氷点下4℃以下になると水道が凍結しやすくなります。屋外、北側で日が当たらない場所、風当たりが強いところ、むき出しになっている水道管は特に注意が必要です。（冬場に長期間留守にする場合は凍結防止対策をお忘れなく）凍結して水が出ないときも必ずじゃ口を閉めて外出してください。

凍結を防止する対策

- むき出しになっている水道管は、発泡スチロール製の保温材などで保温してください。
- 屋外のじゃ口は、乾いたタオルなどで保温して、水に濡れないようにビニールで包む簡易対策も一定の効果があります。
- 末端の水道を少し出しておく（水道料金は加算されます）
- 給湯器などは、各機器の凍結防止マニュアルを確認ください。

もし凍結してしまったときは

- 立ち上がり管の場合は、水道管に直接ぬるま湯をかけてください。
- じゃ口の場合は、じゃ口にタオルをあてて、ぬるま湯をかけると余熱も利用できて効果的です。（熱湯の使用は、器具の破損やヤケドのおそれがあるため避けてください）

管が破損して水が漏れ出したら

- 水道メーターボックス内のバルブを開けて、水道業者へ修理を依頼してください。（修理代金は自己負担です）
- 長期間留守にする場合は、万一の漏水を防止するために、元栓を閉めましょう。

訪問勧誘業者にご注意ください

水道局、下水道課の職員または委託業者は身分証明書を携帯しています。不審な場合は身分証明書の提示を求め、お問い合わせください。

水質検査に業者が訪問

水道局では、事前に依頼がなければ水質検査で訪問することはありません。また、業者へ検査を委託することはありません。（事例）水道水に含まれる残留塩素と反応する薬品を使い色がピンクなどに変わることを示し、水道水に有害な物質が含まれているような不安感を与えて浄水器などを販売する事例が報告されています。

水道メーターの交換に業者が訪問

水道メーターは8年ごとに無料で水道局の委託業者が交換します。また、水道メーターの定期交換の代金はいただきません。

下水管清掃、点検に業者が訪問 下水道課 ☎ 64-2700

市内各地で、宅地内の下水管の清掃や点検を市から委託されたとして訪問勧誘し、高額な費用を請求する業者が多く出回っています。市では、業者に下水管の清掃や点検を委託することはありません。一般住宅で下水道をご使用の方は、台所用のためマスを目1程度、不要になったお玉などですくい取れば、下水管の清掃は必要ありません。この清掃を怠ると油分が固形化し下水管の詰まりの原因になりますので、ご注意ください。

荒尾市民病院

市民を愛する 市民に愛される 病院へ
Arao Municipal Hospital

NST(栄養サポートチーム)を設置しています

Nutrition Support Team（栄養サポートチーム）を略してNSTといいます。

入院中の患者さんに早く元気になって頂くために、医師、看護師、薬剤師、栄養士、言語聴覚士などの専門職がそれぞれの知識や技術を出し合い、最良の方法で栄養支援を行っています。

栄養状態が悪い患者さんは、回復が遅く在院日数が延びる、合併症（感染症、褥瘡など）を併発しやすい、死亡率が高いなどさまざまな問題を抱えています。

患者さんにとって栄養病態を良好に保つことは、治療効果を上げることに大きな役割を持っています。

医療現場では 栄養を改善することによって、治療効果の改善・各種合併症の減少・医療費の節約・入院日数の短縮・患者さんの活動度の改善・生活の質の向上に良い影響を与えることが明らかになってきていて、栄養の重要性が認識されてきています。

NSTの役割

- 入院患者から栄養不良患者を見出し適切な栄養管理を行うこと
- 栄養管理に難渋している患者の治療をサポートすること
- 栄養管理における患者満足度を改善すること
- 医療者の栄養に関する知識と実践および意識の向上を図ること
- 栄養治療に伴う合併症を防止し、栄養治療の質を向上させること



糖尿病教室 瑞鳳会

参加しませんか！

テーマ：
管理栄養士と理学療法士からの話

- ①「あなたの普段の食生活を
見直してみませんか？」
- ②「糖尿病と運動」
～ワーキングの取り組み方～

気軽にご参加ください

- 講師 上原裕子（管理栄養士）
中村太輔（理学療法士）
- 日時 12月9日（金）
午後2時15分～4時
- 場所 地域医療研修センター
（南病棟4階）
- 参加費 無料（事前申込不要）
- ☎市民病院 ☎ 63-1115
（代謝・内分泌内科外来）

平成24年度 職員随時募集中

市民を愛する
市民に愛される 病院へ

あなたの経験とやる気を活かしてみませんか！

- 求人職種 ① 看護師 ② 薬剤師 ③ 事務職（経験）
- 応募資格 職種により年齢制限、職務経歴などがあります。
 - ① 看護師の資格を有する人で、昭和47年4月2日以降に生まれた人（平成23年度国家試験にて資格取得見込みの人を含む）
 - ② 薬剤師の資格を有する人で昭和51年4月2日以降に生まれた人（平成23年度国家試験にて資格取得見込みの人を含む）
 - ③ 一般企業または病院において、総務や財務および医事に15年以上の実務経験を有し、監督・指導ができる程度の経験、知識を有する人で昭和37年4月2日から昭和46年4月1日までに生まれた人

※詳しくは、荒尾市民病院ホームページをご覧ください。